

きたひろ 夢ノート

令和5年4月に新しく改訂された「きたひろ夢ノート」を北広島市内の全児童生徒に配布しました。

今回の改訂に伴い、低学年用（小1～小4）と高学年中学生用（小5～中3）の分冊にして、使用学年を小中学校全学年に広げました。それぞれの学年の発達段階に応じて、各中学校区で9年間使用していきます。



1 「きたひろ夢ノート」とは？

「きたひろ夢ノート」は、北広島市の子どもたちが夢や希望をもち、自分の夢や目標に向かって挑戦していくものです。

自分が記入した「夢ノート」で自分の歩みを振り返り、成長を確かめながら自己有用感を高め、さまざまなことに挑戦する人を育てることをめざしています。

2 「きたひろ夢ノート」の内容

各学年のページ（小学校5年生）

小学5年生の自分

いまの自分を知って
好きなこと・もの、得意なこと、がんばっていること、PR等

将来の夢、やりたいこと

やりたい自分になるために、目標と必要なこと	そのために
学習面の目標	
生活面の目標	
家庭・地域での目標	
その他(趣味や資格)の目標	

1学期の反省

2学期の反省

成長の軌跡について振り返る
どんな経験をしたか？

学んだことや考えたこと

目標のためにがんばったこと、できるようになったこと、考えたこと、気づいたこと	達成したこと、気づいたこと
学習面においてがんばったこと、できるようになったこと	
生活面においてがんばったこと、できるようになったこと	
家庭・地域においてがんばったこと、できるようになったこと	
その他(趣味や資格)がんばったこと、できるようになったこと	

2023年への成長

お夢の方から

先生から

自分自身の夢や目標を前向きな気持ちで記入することで、自己有用感を育てていきます。

未来に向かって考えよう！

SDGsって知ってる？

貧困、飢餓、健康、気候変動、資源の枯渇……人類がこれまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が定住してこの世界で暮らしていくことができなくなってしまうと危惧されています。そんな危機感から、世界中の様々な立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決に向けて具体的な目標を定めたのが

SDGs「持続可能な開発目標」です。

2015年の国連総会で決められ、国際社会は一致団結して2030年を目指して、17の目標を達成しようとしてきました。

皆さんも、身近な生活の課題とSDGsとつながりを取り、「持続可能な世界」を築くためには、何をしたいのか、また、何を自分自身のように目標達成に貢献できるだろうか、考えたり、話し合ったりすることが、世界中の人々と地球を大団にしていけることにつながっています。

SDGsのキーワード → 「誰ひとり取り残さない」

目標1 貧乏をなくそう
目標2 飢餓をゼロに
目標3 全ての健康と福祉を
目標4 質の高い教育をみんなに
目標5 男女平等を実現しよう
目標6 安全な水とトイレを世界中に
目標7 豊かだが持続可能なエネルギー
目標8 豊かさと持続可能な成長をつくらう
目標9 人間力のある産業をこころよく
目標10 人や国を超えて公正な富を分かちあう
目標11 安全で持続可能な都市づくり
目標12 豊かさを減らす
目標13 気候変動に具体的な対策を
目標14 海の豊かさを守ろう
目標15 陸の豊かさも守ろう
目標16 平和と正義をすすめる
目標17 パートナリシップで目標を達成しよう

あなたは、自分の生活で「SDGsの目標」として、どのようなことをしようと思えますか？

地域で取り組める「SDGs」には、どのようなことがありますか？

「SDGs」について記載しています。世界中の課題について、子どもたちが考える機会になるよう、取り上げています。

「きたひろ夢ノート」は、北広島の子どもたち一人一人が「生きる力」を身に付け、社会的・職業的に自立し、将来直面するであろう様々な課題を、柔軟に、たくましく克服していくことができるようになるために活用するものです。困難にくじけず、自分の夢や希望に向かって果敢に挑戦していく北広島の子どもたちを育てるために、「きたひろ夢ノート」がその推進役になることを願っています。